

# 情報研修室の設置

H23.4.1 更新

## 1. 町の教育方針として情報教育をスタート

全国に先駆けて「情報教育専任の指導主事」を置く

岐阜県の輪之内町は、揖斐川、長良川に囲まれた「輪中」の町で、町内には小学校3校、中学校1校がある。輪之内町にはとくに大きな産業もなかったため、将来を長い目で見通して、教育を充実させていこうということになった。「町民の生涯学習」や「人づくり」に力を入れ、子どもたちが成長して外へでていっても、ふるさとは輪之内町と胸を張って言えるような町民を育てていこうというねらいである。

そこで、町として昭和63年度に、全国に先駆けて情報教育を推進していくことにした。コンピュータを導入し、活用していく過程で子どもたちの情報活用能力や子どもたちを指導する教師のリテラシーなど、コンピュータをどのように運用していくかが大きな課題になった。

そこで、全体を総括して情報教育の牽引車となり、サポートできる人材が必要ということになり、教育委員会に「情報研修室」が設けられ、平成2年度から町費負担で「情報教育専任の指導主事」が置かれ、各学校には情報教育のリーダーとして「情報教育主任」が位置づけられた。

現在は4校すべてに大規模にコンピュータを導入し、普通教室でもデジタルコンテンツを活用した授業を実践している。

## 2. 情報教育推進の組織

